

1級 実技（面接）試験実施概要

実技（面接）試験は、以下の実施方法により行われます。

1. 実施方法：ロールプレイ …… 30分
口頭試問 …… 10分（口頭試問は試験官からの説明・質問等も含みます）
2. 事例は、裏面に示す3ケースのうち1ケースが出題されます。
3. 受検者は、民間の相談機関等において、キャリアコンサルティングの実践を行いながら、キャリアコンサルタントに対して事例指導の役割を担っていると仮定してロールプレイを行います。

事例指導とは、相談者へのよりよい支援と、事例相談者のキャリアコンサルタントとしての成長を目的に、事例相談者の担当する事例を通して指導を行うものです。具体的には、相談者に対する面談過程、事例の見立てや対応の方針、組織への働きかけ、リファーやコンサルテーション、事例相談者に不足する態度、役割意識、知識やスキル等について、気づきを促し情報提供や助言を行うことです。
4. 事例相談者(キャリアコンサルタントの役割)は試験係員が行います。
5. 最初に受検者（事例指導者）から自己紹介（ご自身の専門領域や理論的な立場などについて1分程度で説明）し、事例相談者に対し事例内容についての説明を求めてください。その後の事例指導の進め方は自由ですが、事例相談者との間に教育指導関係を築き、事例を通して事例相談者の問題を把握し、事例相談者への育成的な目標を設定するなど、具体的な指導を行うよう心がけてください。
6. 受検室にボールペンとメモ用紙を1枚準備します。受検中は自由に使用可能です。なお、ボールペン、メモ用紙は一切持ち出しできません。
7. ロールプレイ後、口頭試問を行います。
口頭試問の例：
①今回のロールプレイを振り返って、ご自分の良かった点、改善したい点は何ですか。
②この事例相談者の事例の進め方の問題は何でしょうか。
③事例相談者の問題を事例相談者と共有するためにどのような働きかけをしましたか。
8. 合格基準は100点満点で60点以上の得点です。評価区分は基本的態度、関係構築力、問題把握力、具体的展開力の4区分です。なお、評価区分ごとに満点の60%以上の得点（所要点）が必要です。
9. 厳正な採点を行うため、面接試験内容を録音します。受検者は受検に際し、資料等の持ち込み、録音は一切できません。なお、録音をしていた場合は失格となります。

厚生労働大臣指定試験機関

特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会

〒105-0011 東京都港区芝公園1丁目6番8号 泉芝公園ビル5階

TEL 03-5402-4688

【1級 第11回 実技（面接）試験 ロールプレイケース内容】

ロールプレイは、事例相談者と受検者（事例指導者）のみで行います。相談者に関することはロールプレイの中で、事例相談者に説明を求めてください。

ケース1

事例相談者：キャリアコンサルタント（相談歴2年）

相談者：Aさん、女性（58歳）

相談者が相談したこと：先日、上司から定年後の働き方について問われたが、返答できなかった。

一昨年ぐらいから母の介護を行っているが、そのような中、これからの自分の定年後のキャリアについてどのように考えたらよいかわからないため、相談に来た。

キャリアコンサルタントが相談したいこと：Aさんがこれからのキャリアを描くにあたって、自身が納得できる内容になるように、まずは職務経歴、資格などを把握しながら、できるだけその経験を生かしたキャリアプランを立てることを提案したが、進展しないまま面談が終了した。このような定年前のキャリア形成支援においては、どのような助言が必要なのか、指導を受けたい。

ケース2

事例相談者：キャリアコンサルタント（相談歴2年）

相談者：Bさん、男性（59歳）

相談者が相談したこと：会社から定年後の再雇用の話があったが、受ける気はない。かといって

仮に転職しても自分に合う仕事が見つかるかどうかはわからないと思い悩んでいたところ、大学の友人が社会保険労務士として起業したとの話を聞き、自分もその道で独立できれば、とも考えるようになった。今後どのように進めていけばよいかわからず、また気持ちの整理もしたいため、相談に来た。

キャリアコンサルタントが相談したいこと：独立に向けての資格取得については、社会保険労務士にこだわらずに視野を広げた方がよいと考えたため、他の資格についても検討することを勧め、情報提供を行ったところ喜んでくれた様子だった。次回は、今後のことについて具体的に検討しようとして話を終了したが、その後来談はない。どのような対応をすべきだったのか、指導を受けたい。

ケース3

事例相談者：キャリアコンサルタント（相談歴2年）

相談者：Cさん、女性（22歳）私立四年制大学経済学部4年生

相談時期：7月

相談者が相談したこと：特に仕事にはこだわりがないので、福利厚生や給与などで条件の良い大手企業を中心に就職活動をしてきた。30社ほどエントリーして、2社最終面接まで行ったが内定をもらえなかった。どうすれば内定をもらえるのか、このあとの就職活動をどのように進めるべきか、その方法を教えて欲しいと、相談に来た。

キャリアコンサルタントが相談したいこと：昨今の就活では、企業ごとにやってみたいことを具体的に表現できないと勝ち抜けないことを伝えた。また、今からでも適性検査を受けて自分の適性や職業志向の傾向を見た上で、やりたいことを考えることや、併せて企業研究をしていくことを提案した。次はその結果をもとに改めて検討しようとしたが、その後来談はない。支援の方法に問題があったのではないかと思い、指導を受けたい。

以上